



みなみ 園だより 11がつ

令和4年11月1日
目黒区立南保育園
南保育園園長

最近秋が急ぎ足で通り過ぎてしまいそうなくらい寒さを感じる季節となってきましたが、寒さに負けることなく子どもたちは元気に外遊びを楽しんでいます。ある日事務所にいると、笑い声が聞こえてきたので外をのぞいてみると、1歳児クラスの子どもたちが風船かずらの実を指でちょんとつついては、実が揺れると「きゃー」と言いながら走って逃げている場面でした。大人からすると風船かずらの実は見慣れた光景であり、何も感じないまま通り過ぎてしまうこともありかねないのですが、子どもにとってはそれが初めて出会うものであったりします。見慣れた光景だからこそ、立ち止まり、子どもたちと一緒に発見を楽しんだり、子どもが今どんなふう感じているのか、気持ちを探ってみたいと思います。

10月20日に4、5歳児クラスは芋ほり遠足へ行ってきました。とてもいいお天気のもとたくさんのさつま芋が掘れました。今月庭で焚火をして焼き芋を作り、全園児でおいしくいただきたいと思います。南保育園にも実は芋畑があり、3歳児クラスが芋掘りをしてくれました。きれいな色のかわいらしい芋が掘れ、大満足でした。3歳児クラスも気分は芋掘り遠足のような感じでした。今月もたくさん体を動かしたり、秋のおいしい味覚をたっぷり味わいたいと思います。

今月の行事予定

- 0歳児検診
- 歯科検診
- 焼き芋会
- 乳児お楽しみ会
- *身体計測 避難訓練

つぶやき

お昼寝から起きた時のこと。
「ぼくは土星の輪に乗りたんだよ」と寝起きの一言目でした。
宇宙の夢でも見てたかな。
2歳児

「稲刈りをしました」

先日、5歳児クラスが春に植えてから生長を見守ってきた稲を刈り取りました。稲の根元をハサミで切ろうとしますが、一度にまとめて切ろうとして「かたいよ」「切れない…」とうまく切れません。大人がやりやすい分量やハサミを真横に向けて切るように知らせると「こうかな。あ、できた」とすぐにコツを掴んでいます。稲の入った発泡スチロールの周りがかがんだままの姿勢で移動しながら、せっせと刈り取っていきます。なかなか刈り取れないでいる子がいると「こうやって切るんだよ」と教えてあげている子もいました。

稲刈り後は「ああ、切るの大変だったよ」「(稲が)チクチクしてた」「たくさん取れた」と話していました。初めての稲刈りに精を出した一日でした。

刈った稲はこれから、もみすり・脱穀をしていきます。まだまだ大変な作業が続きます。



3、4、5歳児クラスの散歩の様子をご紹介します。

でんでんむし組 3歳児クラス

南一丁目公園は自然豊かで、カマキリ、バッタ、チョウチョなど園庭ではなかなか見つけれない虫に出会うことができます。「今日は何捕まえようか」と期待しながら散歩に出掛けます。「今日はバッタにしよう」と言う子に「バッタを見つけないなら、細長い葉っぱの近くにいるよ」と教えてくれる子がいました。さっそく保育士と一緒に探し始めます。低い姿勢になって草の中から見つけ出す子、草のそばを叩いて飛び出す虫を捕まえる子と見つけ方は様々です。やっと見つけたバッタを嬉しそうに保育園に連れて帰りました。

大事に育てていたある日、バッタが脱皮をしている瞬間を子どもたちが発見し、子どもも保育士も「初めて見た」と興奮しながら脱皮をする様子を見守りました。虫に触れることを通して、生き物を大切にする気持ち、変化や発見を楽しむ姿に共感していきたいです。



こおろぎ組 4歳児クラス

「鬼ごっこしようよ」の掛け声と共に、子どもたちが一斉に集まります。じゃんけんをして鬼が決まると「絶対つかまらないぞ」と鬼ではない子どもたちは気合いを入れています。鬼ごっこが始まると、みんなトラックを走るようにグルグル走り出し、まるでマラソン大会のようです。走り続けているばかりで変化のないことにしびれを切らした子が「鬼さんこちら」と手を叩きました。すると鬼も「捕まえるぞ」と表情が変わり、友達に向かって勢いよく走っていきタッチすることができました。鬼が変わり、第2回戦が始まります。わくわくしながら再び走り出します。「おにさんこちら」と大声で呼んだり、鬼になりたくて鬼の回りを歩いてみたり、捕まらないように鬼の走る方向を見ながら走り回ったりと、逃げ方も様々です。鬼になってすぐに友達にタッチできた子から、「友達がかたまっているところを狙うとタッチできるよ」とアドバイスをもらい、狙いを定めたり、立ち止まっている子を探したりして、作戦や楽しみ方を見つけながら、友達同士で誘い合い鬼ごっこを楽しんでいます。



(鬼決めじゃんけんの様子)

とんぼ組 5歳児クラス

田向公園に着くと、子どもたちは運動会前に練習した事や当日の事を思い出し「リレーしたい」と言い、「グーパーで分かれよう」とチーム分けをし、自分たちで走る順番を決めリレーが始まりました。次に走る友達に向かって、勢いよく走っていきます。友達にバトンを渡す時も「はい」と声掛けをしてバトンを繋いでいました。走っている友達に「頑張れ～」という声援も大きくなっていきます。そして、ゴールすると勝ったチームは喜び合い、負けたチームは悔しくて泣いてしまう子がいました。すると「次、頑張ろうよ。やってみないとわからないよ」「そうだよ、勝つかもしいし」と同じチームの仲間が泣いている友達を励ましています。その言葉を聞いて気持ちが変わり涙をぬぐい、仲間の元に戻りました。作戦タイムが始まり「走る順番を換えてみたら勝てるかも」「走く走れる人を後ろの方にしたらどうかな」と勝つためにどうしたら良いのか知恵を出し合い、またリレーが始まりました。友達と一緒に運動会で様々なことに取り組んだ子どもたちは仲間意識も高まり、友達の気持ちに寄り添ったり、励まし合いながら運動遊びに取り組んでいます。

